

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第49号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:大崎優

はじめに

地方版総合戦略への協力

政府の進める地方創生の中で、都道府県や市町村は将来の人口ビジョンとそれに基づく総合戦略の策定を求められています。

地方版総合戦略は「住民をはじめ、産業界・市町村や国の関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア(産官学金労言)等で構成する推進組織でその方向性や具体案について審議・検討するなど、広く関係者の意見が反映されるようにすること」^注とされ、県内高等教育機関へ委員の依頼が相次いでいます。本学においても当センターが窓口となり、市町村からの委員就任の要請に対して教員の推薦を行っています。

本学教員の委員就任自治体

(センター把握分、平成27年6月末時点)

高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐清水市、香南市、田野町、安田町、馬路村、芸西村、大月町、黒潮町

大学として対応状況を把握するため、市町村より直接委員就任に関するご相談をお受けしている先生は当センターまで情報提供をお願いします。

また、市町村より当センターに相談があった際には、専門分野を鑑みご協力のお願いにあがる場合がありますので、ぜひご協力ください。

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

- Topic1. 国際公共政策研究センター(CIPPS) 視察対応
- Topic2. 2015 カツオセミナーin 高知 開催案内

p3 産学官民連携推進部門

- Topic1. ココプラ第6回シーズ・研究内容紹介
農学部 教授 康 峪梅(カン ユウメイ)
- Topic2. ココプラ開設記念イベント/土佐まるごと社中
(TMS)第17回定例会(創立3周年)/
土佐経済同友会定例会 開催報告

p4 知的財産部門

- Topic1. 「初心者向け知的財産権制度説明会2015」
開催のお知らせ
- Topic2. 高知大学が「大学知財活動助成事業」奨励賞
対象校に選定されました!

Topic 1. 国際公共政策研究センター(CIPPS) 視察対応

5月29日(金)に、本学の地域貢献や地域協働に関する事業の視察のため、国際公共政策研究センター(Center for International Public Policy Studies : CIPPS)の地域再生研究会のメンバーが訪問されました。訪問者は東京海上日動火災保険の隅修三会長、ANA 総合研究所の長瀬眞代表取締役、CIPPSの田中直樹理事長など合計17名です。

本学からは、農学部から石川勝美学部長、地域協働学部から上田健作学部長、地域連携推進センターから受田浩之センター長、吉用武史域学連携推進部門長、大崎優地域コーディネーター、土佐FBCから樋口慶郎特任教授、吉金優特任准教授、中島悦子特任講師、栗田せりか特任助教が対応しました。

農学部の地域貢献や、土佐FBC、高知大学インサイド・コミュニティ・システム、地域協働学部など、様々な取り組みについての有意義な意見交換となりました。



Topic 2. 2015 カツオセミナー in 高知 開催案内

高知大学と黒潮町の連携により運営する「日本カツオ学会」の活動の一環として、7月11日(土)に「2015 カツオセミナー in 高知」を開催します。

今回は「食」としてのカツオに焦点を当て、消費者庁による「食品の新たな機能性表示制度」も見据えながら、カツオの更なる価値創出に向けた調査結果発表及びパネルディスカッションを行います。参加費無料。学会員に限らずどなたでも参加可能となっておりますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

詳しくは↓をクリック！

日本カツオ学会

2015 カツオセミナー in 高知

～食品機能から見たカツオ、かつお節について考える～

日時：平成27年 7月11日 (土)
13:00～17:20

場所：高知大学 朝倉キャンパス
メディアの森6F メディアホール
(高知市朝倉曙町2丁目5番1)

▶ 入場無料 ▶ 事前申し込み不要
▶ セミナー後に交流会 有り

主催：日本カツオ学会

〒780-8073 高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学 地域連携推進センター内
Email : katsuo@kochi-u.ac.jp / TEL : 088-844-8555 / FAX : 088-844-8556

日時：7月11日(土)13:00～17:20

場所：高知大学 朝倉キャンパス メディアの森6階
メディアホール

基調講演：山本 万里 氏

(農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所
食品機能研究領域長)

「農産物の機能性解明と新たな機能性表示制度」

特別講演①：土居 幹治 氏

(マルトモ(株) 常務執行役員 開発本部長)

「かつお節の栄養機能について」

特別講演②：和田 俊 氏 (東京海洋大学 名誉教授)

「鰹節に含まれる栄養・機能性成分の瞬時分析
～DHA, EPA を例に～」

一般講演：2演題

Topic 1. ココプラ第6回シーズ・研究内容紹介

農学部 教授 康 峪梅 (カン ユウメイ)

ココプラにて、7月1日(水)18時30分から開催される、第6回シーズ・研究内容紹介にて、農学部「康 峪梅(かん ゆうめい)」教授が「環境浄化用高性能鉄吸着材の開発と応用に関する研究」と題して研究内容紹介を行います。ヒ素やPM2.5などの環境汚染は、人体に深刻な健康被害をもたらす場合が多く、これら有害物質を除去する技術の開発は極めて重要です。今回のシーズ・研究内容紹介では、環境浄化用高性能鉄吸着材である非晶質鉄水酸化物の合成方法や特性、及び応用研究事例について紹介します。

本吸着材は、従来の技術と比べて、汚染土壌や水からセレン、ヒ素などの有害物質を効率良く除去することができます。2010年にカンボジアで行った実験では、地下水のヒ素汚染で苦しんでいる人々に安全な水を提供できることが実証されました。また、PM2.5に多く含まれる大気汚染物質の除去にもきわめて有効で、喘息やアレルギーの予防、症状の低減につながると期待されており、現在は企業と空気清浄機フィルターの共同開発が行われています。(※康教授は、同テーマにて、平成27年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞されています。)



ココプラHP <http://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=541>

Topic 2. ココプラ開設記念イベント/土佐まるごと社中(TMS)第17回定例会(創立3周年)/土佐経済同友会定例会 開催報告

ココプラ開設記念イベント/土佐まるごと社中(TMS)第17回定例会(創立3周年)/土佐経済同友会定例会を平成27年6月13日(土)13時30分より高知県立大学永国寺キャンパス及びココプラにて開催、18時より「大交流会」を高知城ホールにて開催しました。ココプラ開設記念イベントでは、「株式会社エクスメディア 代表取締役 物部 真一郎氏」による記念講演が行われ、土佐まるごと社中(TMS)第17回定例会(創立3周年)/土佐経済同友会定例会では、30名の方が3会場に分かれてプレゼン大会を実施。尾崎知事も興味のある会場に足を運ばれ、大いに盛り上がったプレゼン大会となりました。プレゼン大会終了後の大交流会では、たくさんの方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

【参加者数】 ココプラ開設記念イベント:約200名、プレゼン大会:約150名、大交流会:約100名
 なお、TMSは毎月、第2水曜日の夜、産学官民の交流活動を実施しております。



Topic 1. 「初心者向け 知的財産権制度説明会2015」

開催のお知らせ

特許や商標などの知的財産権の基礎的な内容について学びたい方、興味がある方など、初心者向けの「知的財産権制度説明会2015」(主催:特許庁・四国経済産業局、後援:高知県(予定))が高知ちばさんセンターにて開催されます。参加費は無料で、どなたでもご参加いただけますので、この機会に奮ってご参加ください。

日時:平成 27 年 8 月 19 日(水) 13:30~17:00

「知的財産権の概要について」

13:30~14:50 知的財産権・特許・実用新案制度の概要

15:00~15:50 意匠・商標制度の概要

16:00~17:00 産業財産権の活用、各種支援策の紹介等

※説明会のテキストは、開催当日に配布されます。

定員:50 名(事前申込制 定員になり次第締切)

会場:高知ちばさんセンター(2F 研修室 1)高知市布師田 3992-2

問合せ先:知的財産権制度説明会運営事務局(一般社団法人発明推進協会)

TEL:03-3502-5436

参加申込はホームページより可能です。

https://www.jiii.or.jp/h27_shoshinsha/entry_0048/contact.html

Topic 2. 高知大学が「大学知財活動助成事業」奨励賞対象校に

選定されました!

一般財団法人 工業所有権協力センター(IPCC)は、大学の知財活動に対し必要な資金を助成することで、大学の知財活動の活性化を図り、ひいては知財立国を通じた我が国の産業・経済の発展に寄与することを目的とした「大学知財活動助成事業」を本年度から開始しました。5月に助成を希望する知財活動の募集が行われ、本学から、活動名「大学と地域が協働して行う知的財産活用プロジェクト」を応募したところ、奨励賞対象校に選定されました。本年度は、27大学から32の知財活動について応募があり、助成対象知財活動6件、奨励賞対象大学3校が選定されています。

今後、高知県内での知財セミナーの開催や本学知財と地域ニーズ等とのマッチングを通じて地域の発展・活性化に活かしていきます。

大学知財活動助成事業選考結果(平成 27 年度):<http://www.ipcc.or.jp/university/result.html>